

JSiSE全国大会チュートリアル 採択される科研費申請書の書き方

2018/9

仲林 清

knaka@net.it-chiba.ac.jp

概要

- ◆申請の際に気をつけていること
- ◆申請書の具体例
- ◆その他のポイント

実績

◆科研

- 2017~2020 基盤A:システム開発系
- 2014~2017 挑戦的萌芽:授業設計系
- 2014~2016 基盤B:システム開発系
- 2011~2013 基盤B:システム開発系
- 2008~2010 基盤C:システム開発系

◆審査員(公開分)

- 2012~2013, 2015~2016 教育工学

申請の際に気をつけていること 理科系の作文技術p.15



木下 健著
理科系の作文技術

研究の「価値」と
「フィジビリティ」を示せ

申請書は

- (a) その研究のねらいは何かを具体的に、明確に示し、
(b) 自分がこれまでやってきたことと、これからの研究方針とを、(略)その研究がうまくいく確率を評価できるように、きちんと述べた
ものでなければならない。

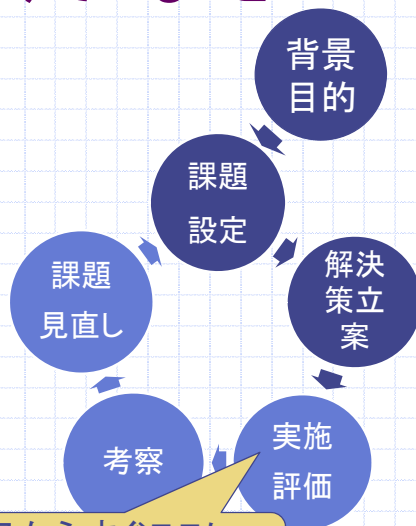
申請の際に気をつけていること

研究の「価値」

- ◆ 過去との差分・明確なリサーチクエッション
- ◆ 内容をできるだけ**具体的に**
 - 計画, 実施内容, アウトプット, 特に初年度!
 - 大いなる勘違い: 初年度に調査は絶対ダメ

特にこっち!
「フィジビリティ!!」

明日からすぐここに
取り掛かれることを示す



2018/9

5

具体例: 2014~2017 挑戦的萌芽

- ◆ ビデオ視聴と自他レポート吟味により学習に関する内省を支援する教授設計の研究 ([リンク](#))
- ◆ 発表
 - Nakabayashi, K. (2018) Course design investigation and trial on the subject of self-regulated learning using video content and online report submission. Interactive Technology and Smart Education, 15(2) Accepted
 - Nakabayashi K. (2017) A course design investigation and trial on the subject of self-regulated learning using video content and online report submission, Proc. of the 2017 International Conference on Open and Innovative Education (ICOIE 2017), 192-202
 - 仲林 清 (2018) 自己調整学習に関する内省・概念化を促す授業における学習者意識変化の分析, 教育システム情報学会研究報告, 32(5), 1-8.
 - 仲林 清 (2017) 自己調整学習に関する内省・概念化を促す授業における学習者の意識変化, 日本教育工学会研究報告集, JSET17-4, 51-58.
 - 仲林 清 (2016) 自己調整学習を主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業設計の試行と評価, 教育システム情報学会研究報告, 30(5), 33-40.

2018/9

6

その他のポイント

- ◆ フォーマットを守る, 余白をつくらない
 - 下線・太字を多用しすぎない
- ◆ 抽象的な言葉・狭い専門用語を使わない
 - 例: 認知的徒弟制?
- ◆ 「着想に至った経緯」に注意
 - 日記を書かない
- ◆ 時宜に合わせる

- ◆ (良い意味で)だます(=説得する)
- ◆ 研究が終わってから, それを申請する, つまり継続が大事!

2018/9

7

2018/9

8